

NEWS RELEASE

2026年1月5日

BGG Japan 株式会社

ヘマトコッカス藻由来アスタキサンチン

肌における抗紫外線および髪の乾燥感に関する新知見

本臨床試験において、ヘマトコッカス藻由来アスタキサンチン(6 mg/日)を 8 週間摂取した試験食群の MED (Minimal Erythema Dose : 最小紅斑量) がプラセボ群と比較して有意に上昇したことから、肌における抗紫外線の効果が示唆されました。また、試験食群では髪の乾燥感を訴える被験者が有意に減少しました。

本臨床試験の結果は国際学術誌『Journal of Functional Foods』に掲載されました。

Anti-ultraviolet effects of astaxanthin derived from *Haematococcus pluvialis* microalgae on the skin, hair, and nails of Japanese people: a randomized, placebo-controlled, double-blind, parallel-group comparative study

J Funct Foods, 136 (2026) 107138

<https://doi.org/10.1016/j.jff.2025.107138>

試験概要

- ・対象者：紫外線で肌が赤くなりやすい健常な日本人成人男女
- ・試験デザイン：ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験
- ・摂取方法：試験食群はヘマトコッカス藻由来アスタキサンチン(6mg/日)を含むカプセルを摂取し、プラセボ群はアスタキサンチンを含まないカプセルを摂取した。
- ・主要評価項目： MED (Minimal Erythema Dose : 最小紅斑量) ※
- ・副次評価項目： 肌,髪,爪に関する自覚症状、肌の色味、経皮水分蒸散量、皮膚水分量、皮膚粘弹性、糖化ストレス
- ・摂取期間：8 週間

※MED：最小紅班線量(Minimal Erythema Dose)を意味し、皮膚に紫外線を照射後 16~24 時間で照射野のほぼ全域にわずかな紅班が認められる最小紫外線量の単位。

今後も弊社は、高機能・高品質の素材開発と研究を進め、より価値の高い機能性素材を提供し続けて参ります。

ご興味のある方は担当営業までお気軽にお問い合わせください。

以上